

## 第8回大宮区区民会議 会議録

- 1 日 時 平成30年2月21日（水）15時00分～17時00分
- 2 会 場 大宮区役所1階多目的室
- 3 出席者 19名

（委員）13名

花俣淳一会長、池上明彦副会長

新井陽子委員、井上恵美子委員、大野敏子委員、廣澤宣明委員、齋藤泰雄委員、  
仙石玲委員、武田千春委員、登坂篤委員、星野美子委員、松岡忠男委員、  
村上隆子委員

（欠席委員）5名

横山千恵子副会長

小倉京子委員、田代秀一委員、藤田信一委員、松本よしの委員

（事務局）4名

白石（コミュニティ課長）

池羽、佐伯、加藤（コミュニティ課）

（コンサルタント）2名

植田、白木（(株)社会構想研究所）

## 4 内 容

（1）開会

（2）協議事項

①第8期区民会議テーマ選定について

（3）連絡事項

①区民会議だよりの発行について

②平成30年度区民会議のスケジュールについて

（4）閉会

## 5 議事内容

### ・第8期大宮区区民会議の方向性を定める

第7回区民会議のグループワークでの議論を踏まえて、大宮をこれまで以上に  
よりよくするためにはどのようなことが考えられるか、第8期区民会議の方向性  
や協議テーマについて協議した。

#### 【協議内容】

##### ①第7回区民会議のまとめと振り返り

最初に、これまでの1年間の区民会議の活動を踏まえながら、第7回区民会  
議での協議について振り返りをおこなった。

〔大宮らしさ〕来街者ではなく、まずは区民が大宮らしさを理解できるように  
する。大人も子どもも区民の皆が「大宮の魅力」に気づく仕掛けが必要。

〔公共用地の活用〕区民会議としての提案のしやすさを考えると「公共用地の  
活用」が第1に挙がる。箱モノを造るのではなく、そこで何をするのか・何が  
できるのかということを先に考えていく必要がある。

〔超高齢社会を見据えて〕超高齢社会に向けて、高齢者と若い人が一緒に過ご  
せる機会の創出、子育て世代が住みたくなるような取り組み（送迎保育ステー  
ション等）を検討し、高齢者も子育て世代も住みよい街を実現する。

##### ②第8期区民会議の協議テーマ・方向性の設定

①の協議を踏まえて、「大宮区民の憩いと潤い」、「行政とは違う身近な視点  
で考える」といった観点から、第8期区民会議の協議テーマを『大宮の将来に  
向かって～区民が求める公共用地の活用～』に決定した。

##### ③来年度やりたいこと・視察に行きたいところ

協議テーマをもとに、来年度の区民会議の活動及び視察先の希望として、保  
育関係（流山市、柏市、浦和大学）、商業施設（虎ノ門ヒルズ、GINZA SIX、高  
崎駅ビル）、大宮区内（学童保育、口琴）等の希望が挙げられた。

### ・区民会議だよりの発行について

大宮区報4月号と併配の区民会議だより（第30号）について、1面に本日決  
定した区民会議のテーマと会長挨拶、2面に“地域資源取材コーナー”として松  
岡委員による大宮公園の記事を掲載することが報告された。

### ・平成30年度区民会議のスケジュールについて

事務局より、平成30年度の区民会議のスケジュールが示され、承認された。

次回第9回区民会議は、平成30年5月23日（水）午後2時から、区役所1階多目的  
室で開催予定。

### 第7回までの区民会議の協議を振り返って

#### ① 大宮のアイデンティティ≒大宮らしさ

- 大宮らしさとは?で立ち止まっているともったいない
- 外から来る人に「大宮らしさとは?」と尋ねられたときに答えられないのは、住んでいる人がよさを分かっていないから
- 大人も子どもも、区民みんなが「大宮の魅力」に気がつく仕掛けが必要

誰が魅力を感じるのか ⇒ 主体は区民

例：

- ▼ 地域の文化的な財産を伝承する（歴史・文化・偉人） ← 子どもも使える冊子等
- ▼ 地域のよさを反映したデザイン

#### ② 公共用地の活用

- 大宮駅グランドセントラルステーション化構想（GCS）や大宮公園グランドデザインは話が大きい。区民会議で提案がしやすいのは ⇒ 「**公共用地の活用**」
- 大宮駅のことはGCSでもやっている

活用に向けて

- 箱モノを造るのではなく、今ある施設をいかに有効活用して区民に宣伝するか
- そこで何ができるか、何をするのが先決
- 施設はたくさんあるが、区民が上手く使えていないのではないか
- どこに行けば何があるのか何をやっているのかということを市民に情報発信することが重要

### ③ 超高齢社会を見据えて

- 若い人と高齢者が一緒に過ごせる機会をつくる（例：幼老複合施設）
- 高齢者の移動手段の確保。高齢者がまちに出たくなるような仕組みづくり
- 健康寿命の長いまち
- 子育て世帯が住みたくなるようなまちに。親の負担を軽くするような方策。
- 保育園の送迎のハブ施設（送迎保育ステーション）
- 新しく引っ越してきた若い人も 30 年も経つと高齢化してしまうので、どんどん入れ替わるような仕組みが必要。

① 大宮のアイデンティティ≡大宮らしさ

② 公共用地の活用

③ 超高齢社会を見据えて

を踏まえて

## 第 8 期区民会議のテーマ

### 大宮の将来に向かって ～区民が求める公共用地の活用～

- ▼ 行政とは違う身近な、生活者の視点で
- ▼ 文化的機能
- ▼ 情報発信機能
- ▼ みんなが集まれる場所
- ▼ 憩いと潤い
- ▼ たまり場を創造する

### 来年度やりたいこと・視察に行きたいところ

保育関係	流山市（送迎保育ステーション）、柏市（幼老複合施設）、浦和大学（学校と保育所）
商業施設	虎ノ門ヒルズ、GINZA SIX、高崎駅ビル
大宮区内	学童保育、文化（口琴）